

大田区政に関する世論調査

平成27年7月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成27年12月

大田区 区長政策室 区民の声課

■調査概要

- 対象者 区内に在住する満20歳以上の男女個人（外国人を含む）
- 対象数 2,000人
- 回収数 1,070人
- 回収率 53.5%
- 有効回収数 1,069人（電子申請での回答含む）
- 有効回収率 53.5%
- 抽出方法 層化無作為抽出法
- 調査方法 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

■グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

1. 定住性

- (1) 居住開始時期
- ★(2) 定住意向【P2】
- ★(3) 住みたい理由【P2】
- ★(4) 住んでいるまちが魅力的か【P3】

2. 暮らしやすさ

- ★(1) 生活環境の満足度【P4】
- ★(2) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P5】

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. 健康に暮らせるまち

- ★(1) 人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なこと【P5】

4. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- ★(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度【P6】
- (2) 「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」を進めるために必要な区の実施状況
- ★(3) 駅周辺のバリアフリー化【P6】

5. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

- ★(1) この1年間に行った生涯学習【P7】
- (2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能の活用

6. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

- ★(1) 東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか【P8】
- ★(2) 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて区に期待する取り組み【P8】
- ★(3) この1年間の運動・スポーツ活動の頻度【P9】

7. 安定した暮らしと人権

- ★(1) 男女の地位平等【P9】

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

8. 潤いとやすらぎのあるまち

- ★(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P10】

9. 国際交流

- ★(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P10】
- ★(2) 文化事業の満足度【P11】

10. 大田区の観光

- ★(1) 区外や外国人の方々に対して誇れるものやアピールしたいもの【P12】
- ★(2) 観光を振興するうえで必要なこと【P13】

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

11. 地域力の土台づくり

- ★(1) 参加したことのある地域活動【P14】

12. 災害に強いまちづくり

- ★(1) 大震災発生時に不安だと思えるもの【P15】
- ★(2) 震災対策の実施状況【P16】
- ★(3) 災害情報の入手手段【P17】

13. 防犯に強いまちづくり

- ★(1) 力を入れてほしい防犯施策【P17】

14. 地球環境

- ★(1) 「清潔で美しい大田区をつくる条例」の認知度【P18】
- (2) 喫煙マナーを周知徹底するための取り組み
- (3) 「生物多様性」の認知度
- ★(4) 「コアジサシ」の認知度【P18】

15. ごみのない循環のまち

- ★(1) 紙ごみの分別状況【P19】

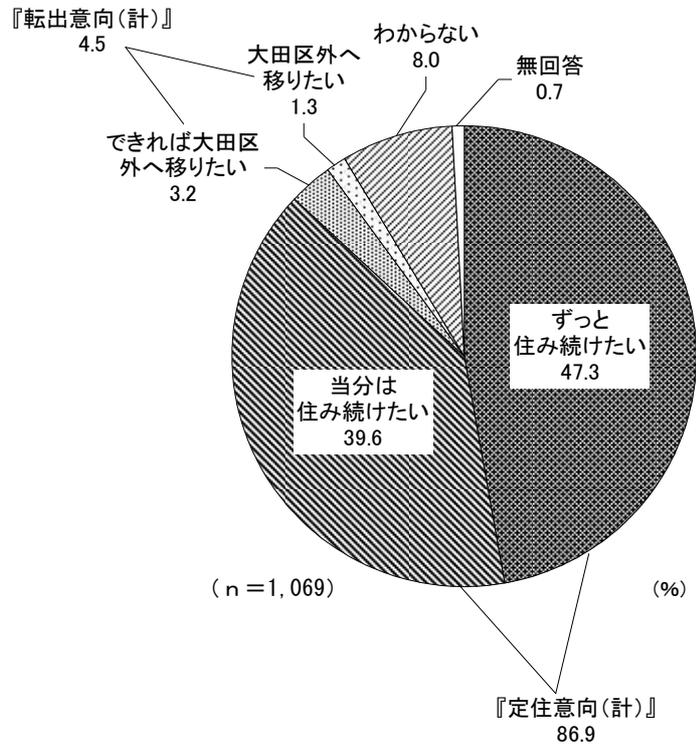
16. 区政への関心と要望

- ★(1) 区の制度・施策・施設の認知度【P20】
- ★(2) 区の情報を知るために利用する媒体【P21】
- ★(3) 区の情報公開【P21】
- ★(4) 施策要望【P22】

1. 定住性

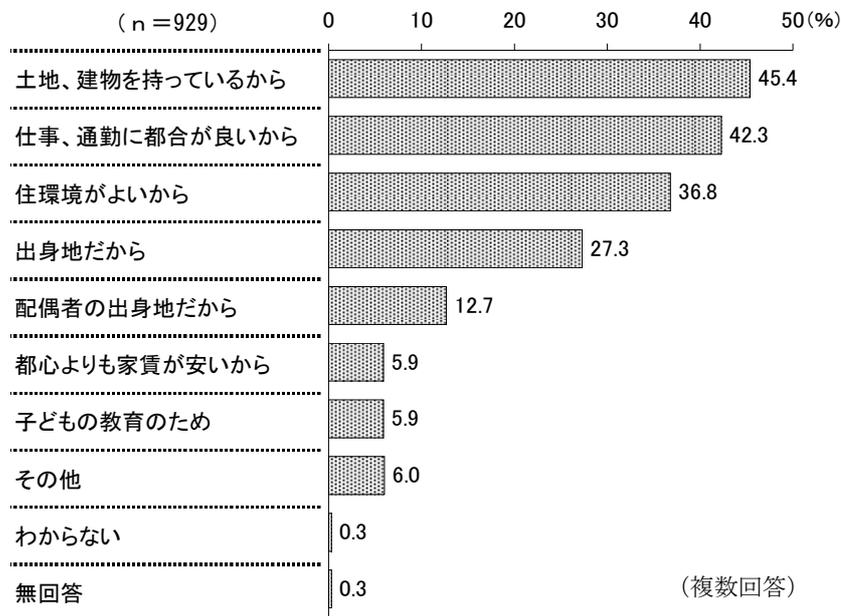
■定住意向・・・『定住意向（計）』は9割近く

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（47.3%）が5割近くで最も高く、これに「当分は住みたい」（39.6%）を合わせた『定住意向（計）』（86.9%）は9割近くとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（3.2%）と「大田区外へ移りたい」（1.3%）を合わせた『転出意向（計）』（4.5%）はわずかとなっている。



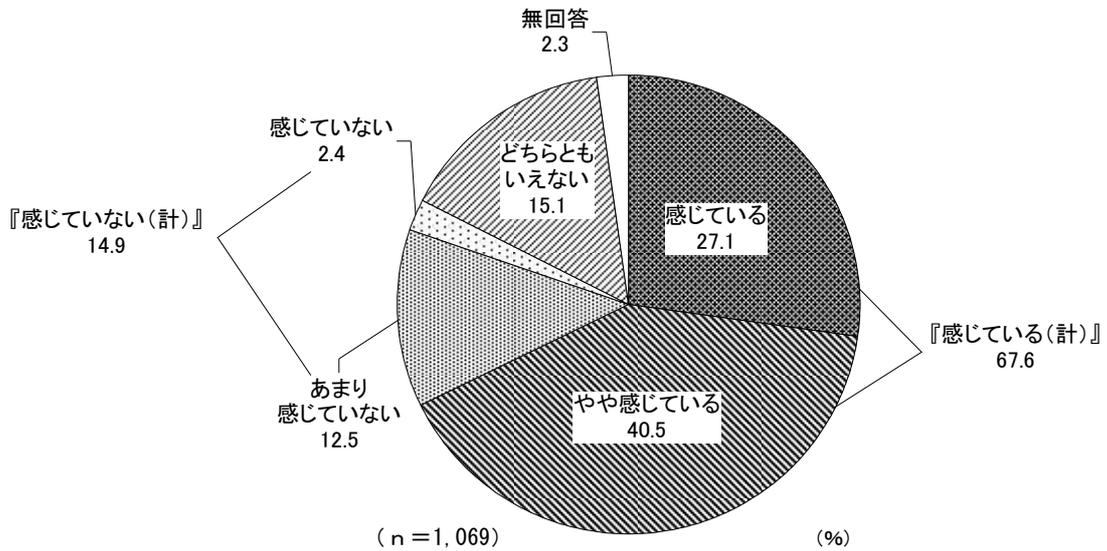
■住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が4割半ば

これからも大田区に「ずっと住みたい」、「当分は住みたい」と答えた人（929人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（45.4%）が4割半ばで最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」（42.3%）、「住環境がよいから」（36.8%）、「出身地だから」（27.3%）、「配偶者の出身地だから」（12.7%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている(計)』は7割近く

住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」(40.5%)が約4割で最も高く、これに「感じている」(27.1%)を合わせた『感じている(計)』(67.6%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(12.5%)と「感じていない」(2.4%)を合わせた『感じていない(計)』(14.9%)は1割半ばとなっている。

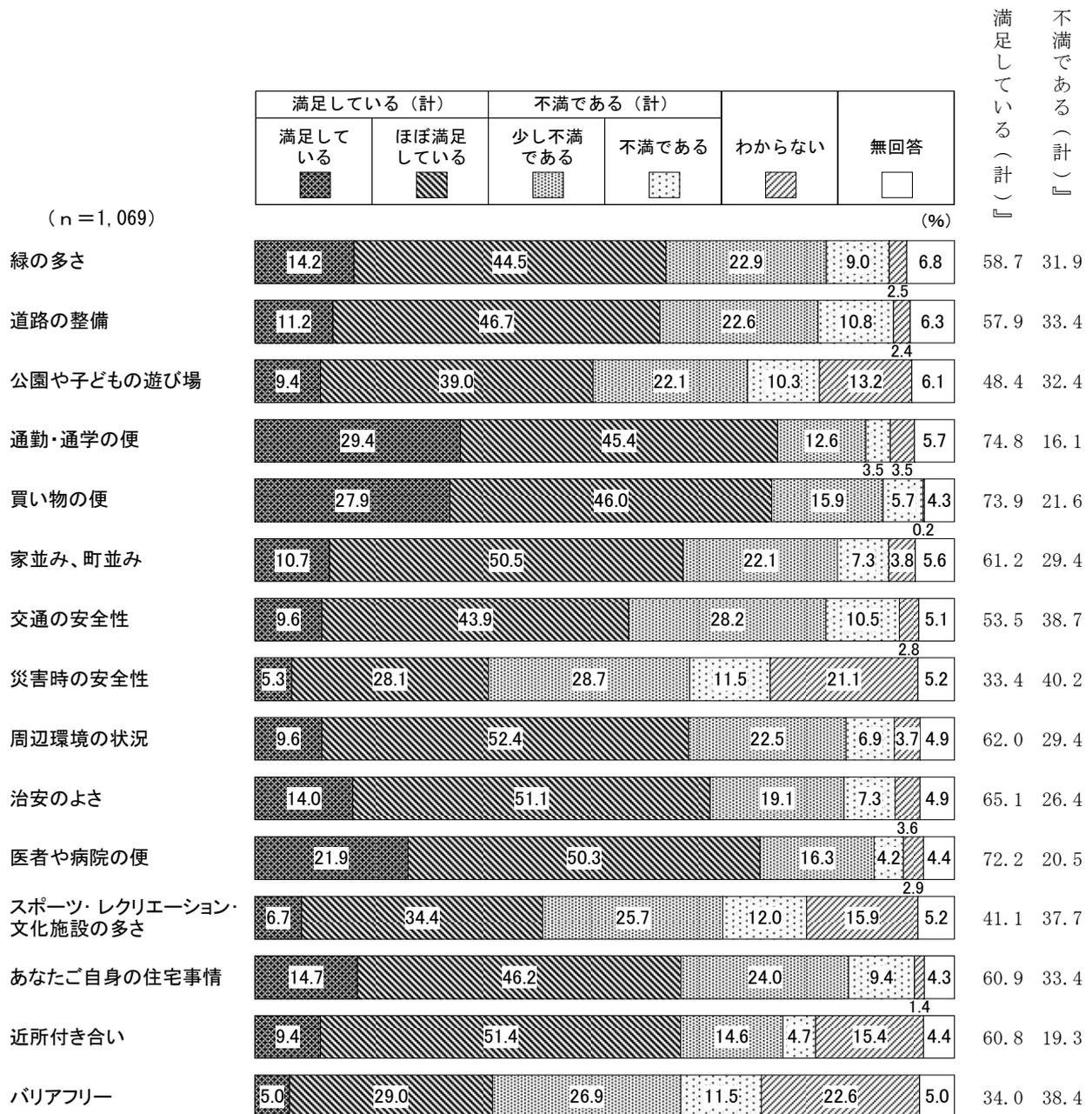


2. 暮らしやすさ

■生活環境の満足度

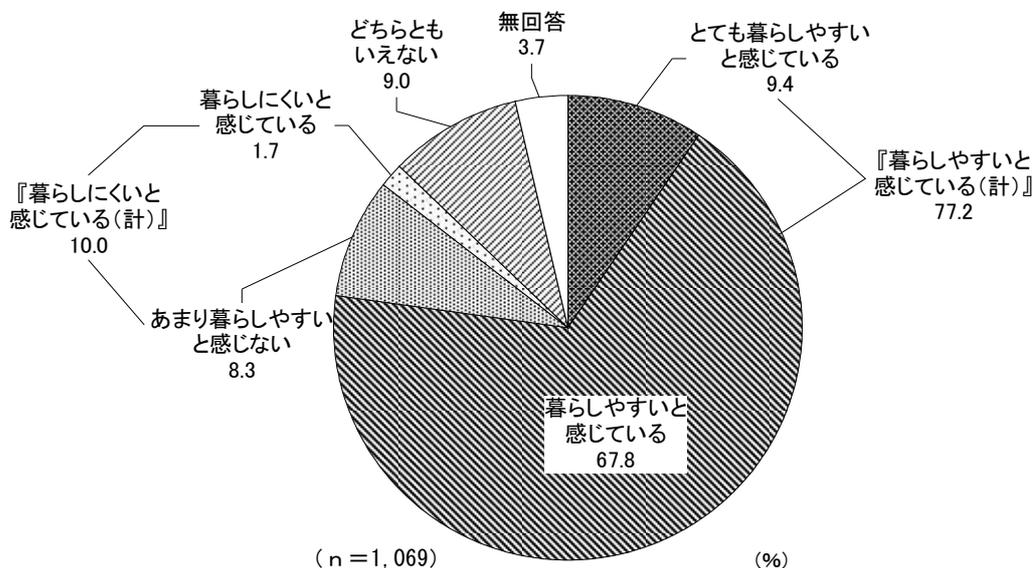
・・・『満足している（計）』は“通勤・通学の便”で7割半ば

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は“通勤・通学の便”（74.8%）で7割半ばと最も高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は“災害時の安全性”（40.2%）で4割と最も高くなっている。



■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている(計)』は8割近く

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(67.8%)が7割近くで最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(9.4%)を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』(77.2%)は8割近くとなっている。また、「あまり暮らしやすいと感じない」(8.3%)と「暮らしにくいと感じている」(1.7%)を合わせた『暮らしにくいと感じている(計)』(10.0%)は1割となっている。



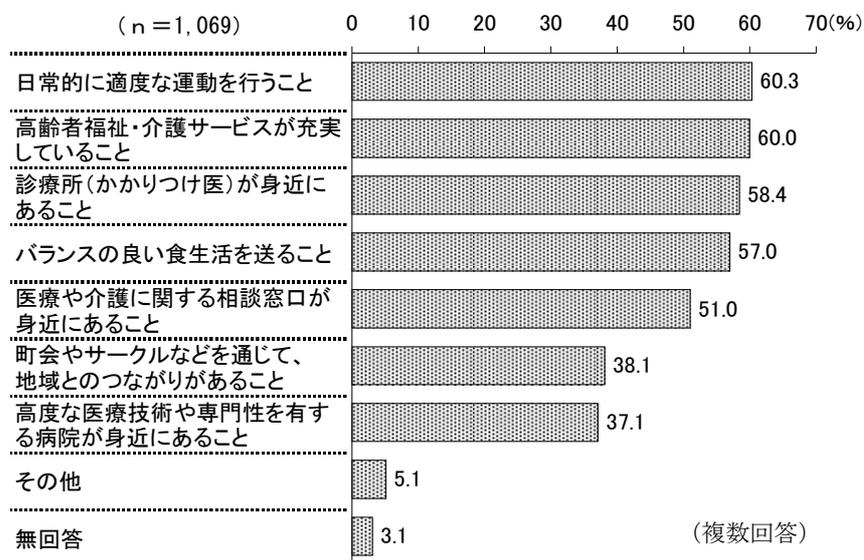
《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. 健康に暮らせるまち

■人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なこと

・・・『日常的に適度な運動を行うこと』と『高齢者福祉・介護サービスが充実していること』が6割

人生の最終段階まで安心して暮らしていくために重要なことを聞いたところ、「日常的に適度な運動を行うこと」(60.3%)と「高齢者福祉・介護サービスが充実していること」(60.0%)が6割で高く、次いで「診療所(かかりつけ医)が身近にあること」(58.4%)、「バランスの良い食生活を送ること」(57.0%)、「医療や介護に関する相談窓口が身近にあること」(51.0%)などの順になっている。



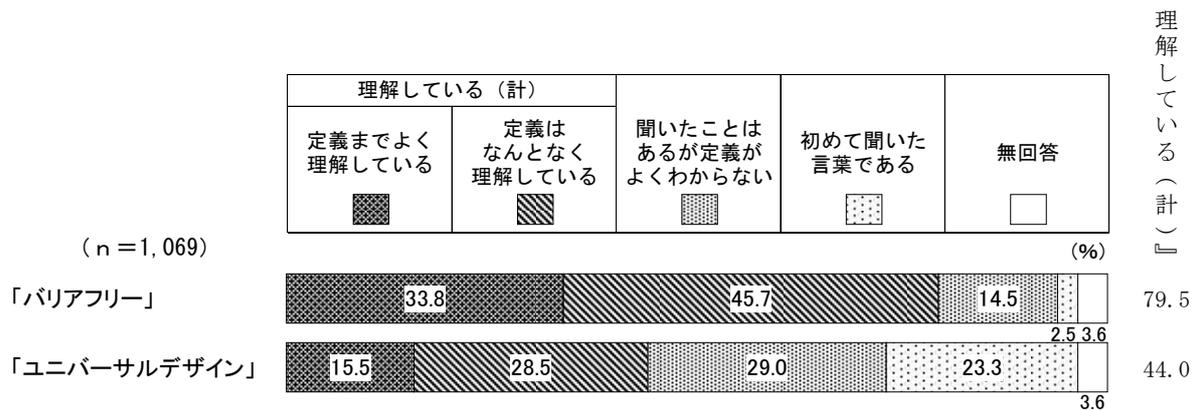
4. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■ 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

・・・『理解している(計)』は「バリアフリー」が8割、「ユニバーサルデザイン」が4割半ば

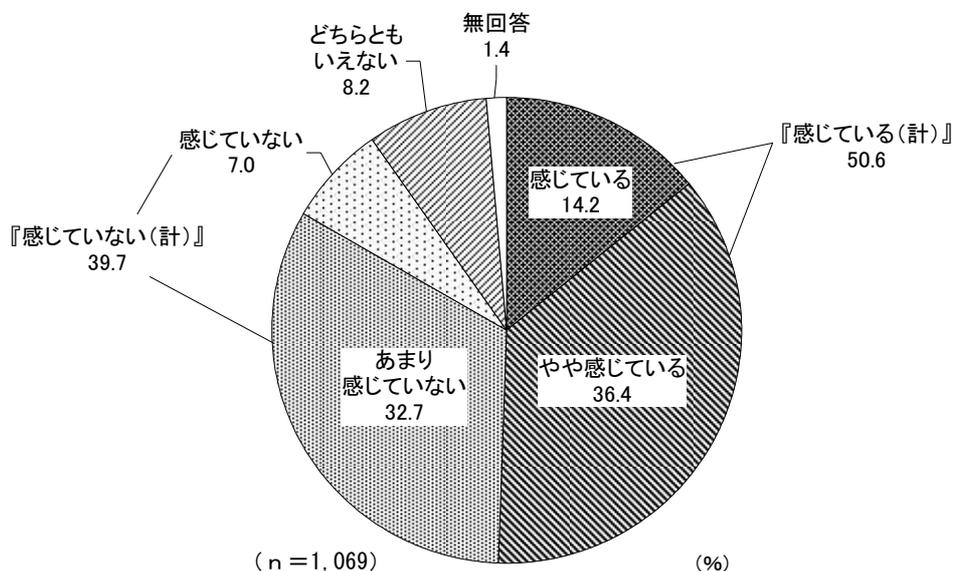
「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(45.7%)が4割半ばで最も高く、これに「定義までよく理解している」(33.8%)を合わせた『理解している(計)』(79.5%)は8割となっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義までよく理解している」(15.5%)と「定義はなんとなく理解している」(28.5%)を合わせた『理解している(計)』(44.0%)は4割半ばとなっている。



■ 駅周辺のバリアフリー化・・・『感じている(計)』は約5割

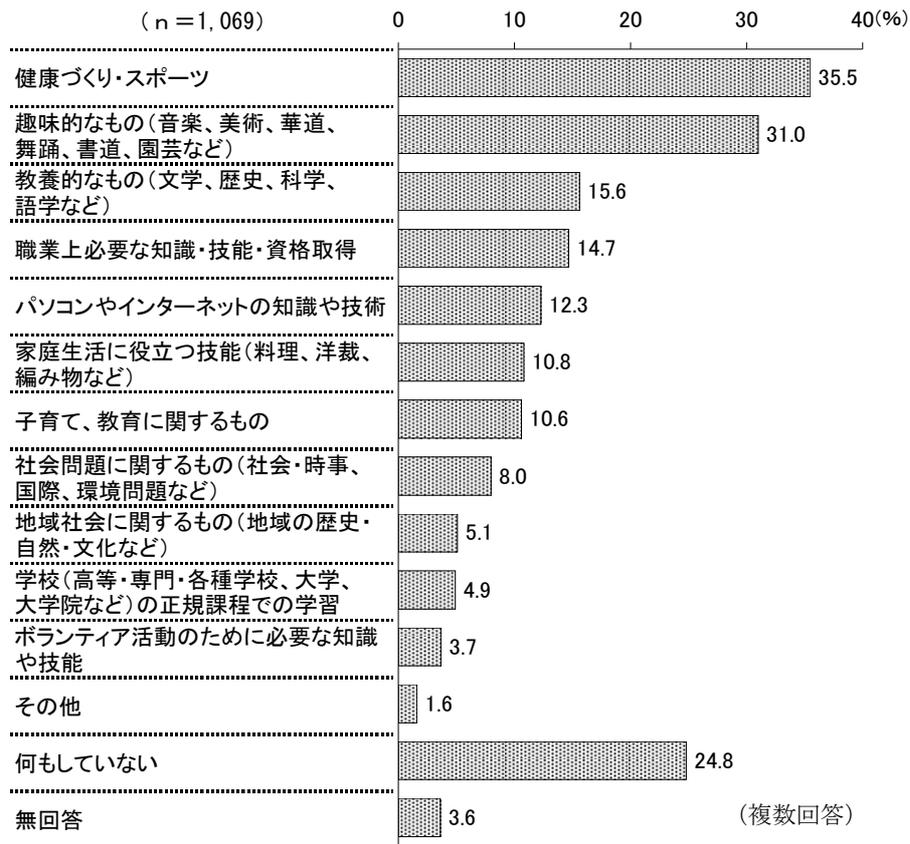
駅周辺のバリアフリー化が進んでいると感じているか聞いたところ、「感じている」(14.2%)と「やや感じている」(36.4%)を合わせた『感じている(計)』(50.6%)は約5割となっている。一方、「あまり感じていない」(32.7%)と「感じていない」(7.0%)を合わせた『感じていない(計)』(39.7%)は4割となっている。



5. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

■この1年間に行った生涯学習・・・「健康づくり・スポーツ」が3割半ば

この1年間に行った生涯学習を聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」(35.5%)が3割半ばで最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(31.0%)、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」(15.6%)、「職業上必要な知識・技能・資格取得」(14.7%)、「パソコンやインターネットの知識や技術」(12.3%)などの順になっている。一方、「何もしていない」(24.8%)は2割半ばとなっている。

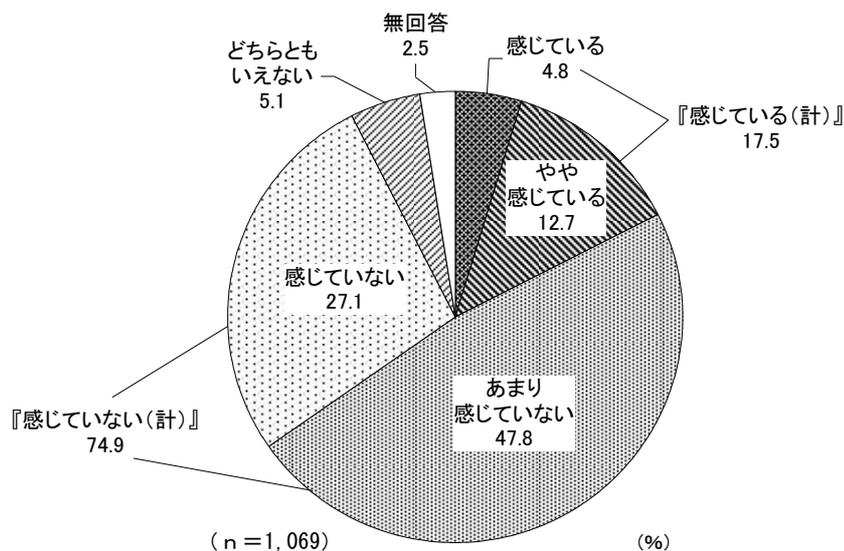


6. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

■東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか

・・・『感じている(計)』は2割近く

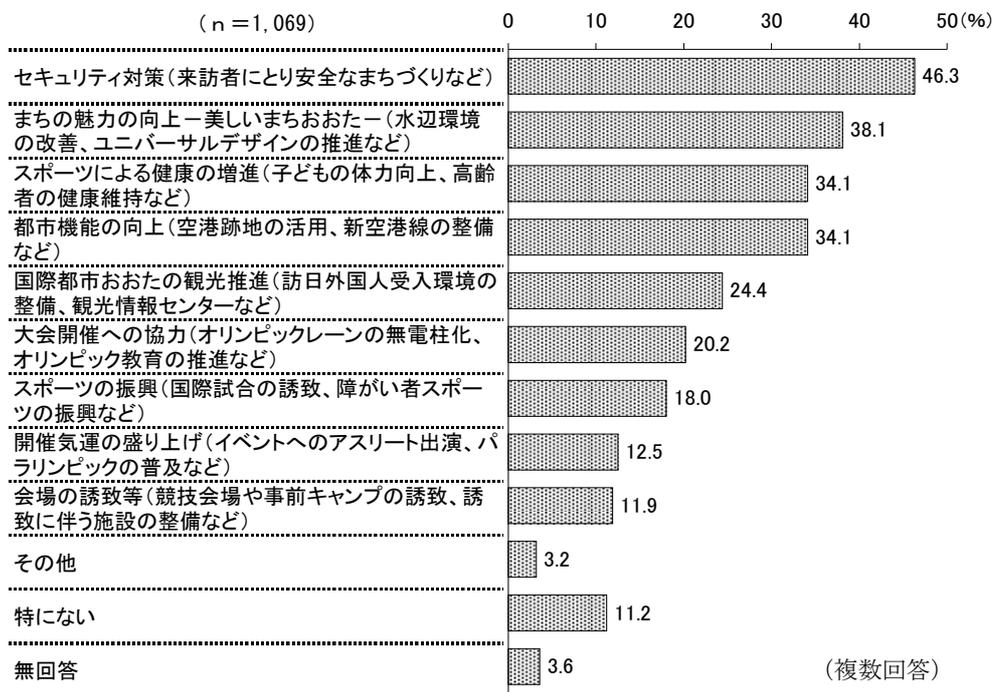
東京オリンピック・パラリンピック大会が身近になってきたと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.8%)と「やや感じている」(12.7%)を合わせた『感じている(計)』(17.5%)は2割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(47.8%)と「感じていない」(27.1%)を合わせた『感じていない(計)』(74.9%)は7割半ばとなっている。



■東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて区に期待する取組み

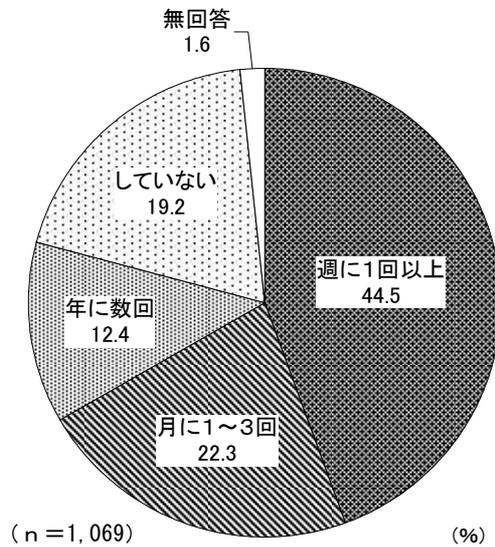
・・・『セキュリティ対策(来訪者にとり安全なまちづくりなど)』が4割半ば

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、大田区に期待する取組みを聞いたところ、「セキュリティ対策(来訪者にとり安全なまちづくりなど)」(46.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「まちの魅力の向上-美しいまちおた- (水辺環境の改善、ユニバーサルデザインの推進など)」(38.1%)、「スポーツによる健康の増進(子どもの体力向上、高齢者の健康維持など)」と「都市機能の向上(空港跡地の活用、新空港線の整備など)」(ともに34.1%)などの順になっている。



■この1年間の運動・スポーツ活動の頻度・・・「週に1回以上」が4割半ば

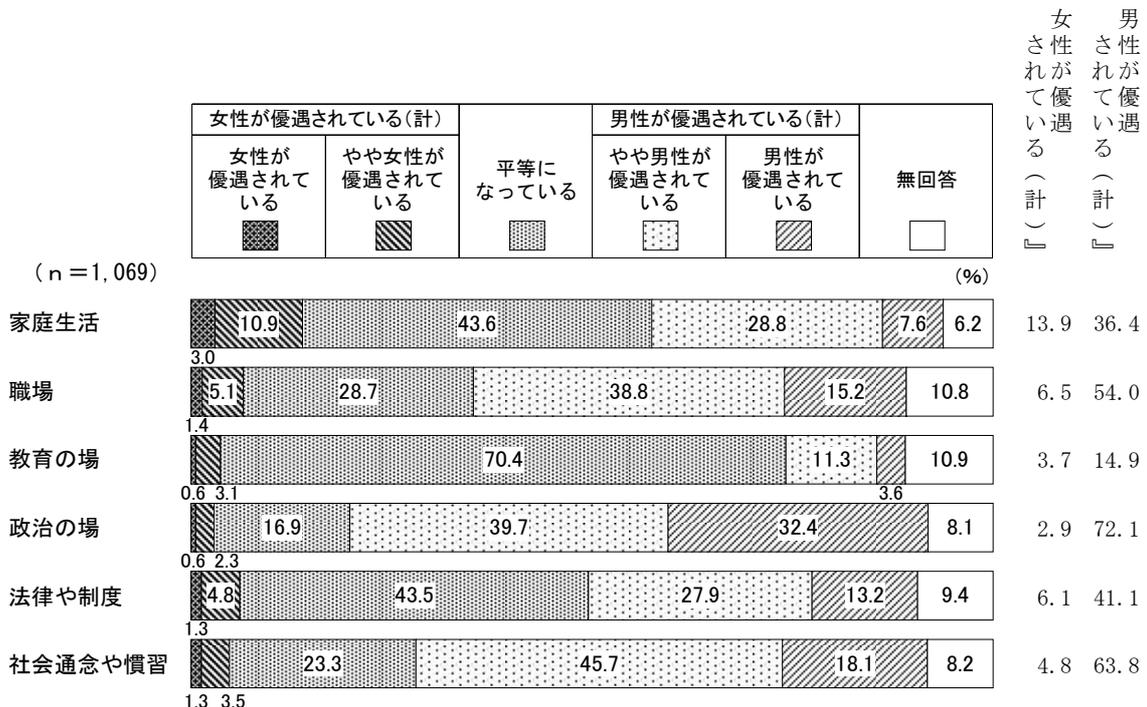
この1年間の運動・スポーツ活動の頻度を聞いたところ、「週に1回以上」（44.5%）が4割半ばで最も高く、次いで「月に1～3回」（22.3%）、「年に数回」（12.4%）となっている。一方、「していない」（19.2%）は約2割となっている。



7. 安定した暮らしと人権

- 男女の地位平等・・・『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”で1割を超える
- 『平等になっている』は“教育の場”で7割
- 『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で7割を超える

男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”（13.9%）で1割を超えている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（72.1%）で7割を超え、“社会通念や慣習”（63.8%）で6割を超えている。また、「平等になっている」は“教育の場”（70.4%）で7割となっている。

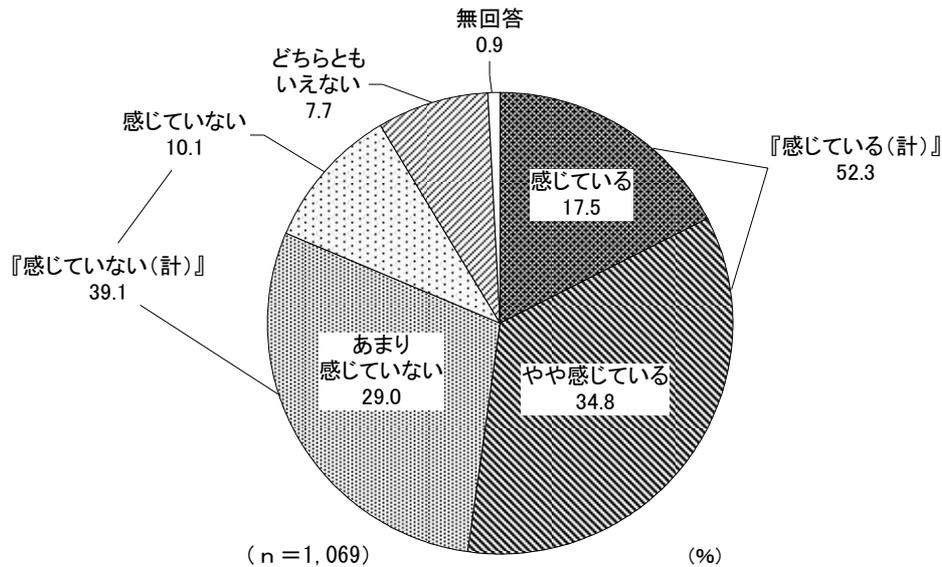


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市》

8. 潤いとやすらぎのあるまち

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている(計)』は5割を超える

身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(17.5%)と「やや感じている」(34.8%)を合わせた『感じている(計)』(52.3%)は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」(29.0%)と「感じていない」(10.1%)を合わせた『感じていない(計)』(39.1%)は約4割となっている。

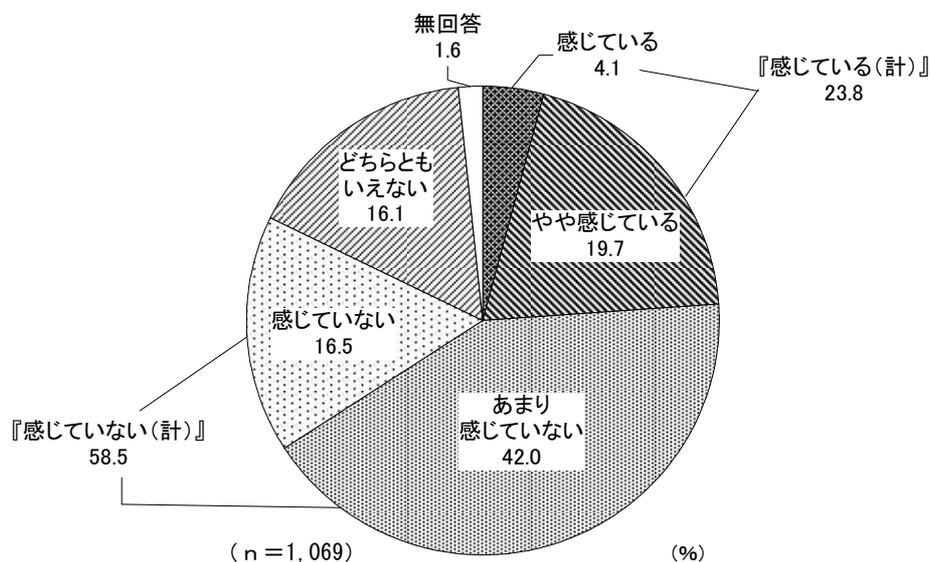


9. 国際交流

■大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

・・・『感じている(計)』は2割を超える

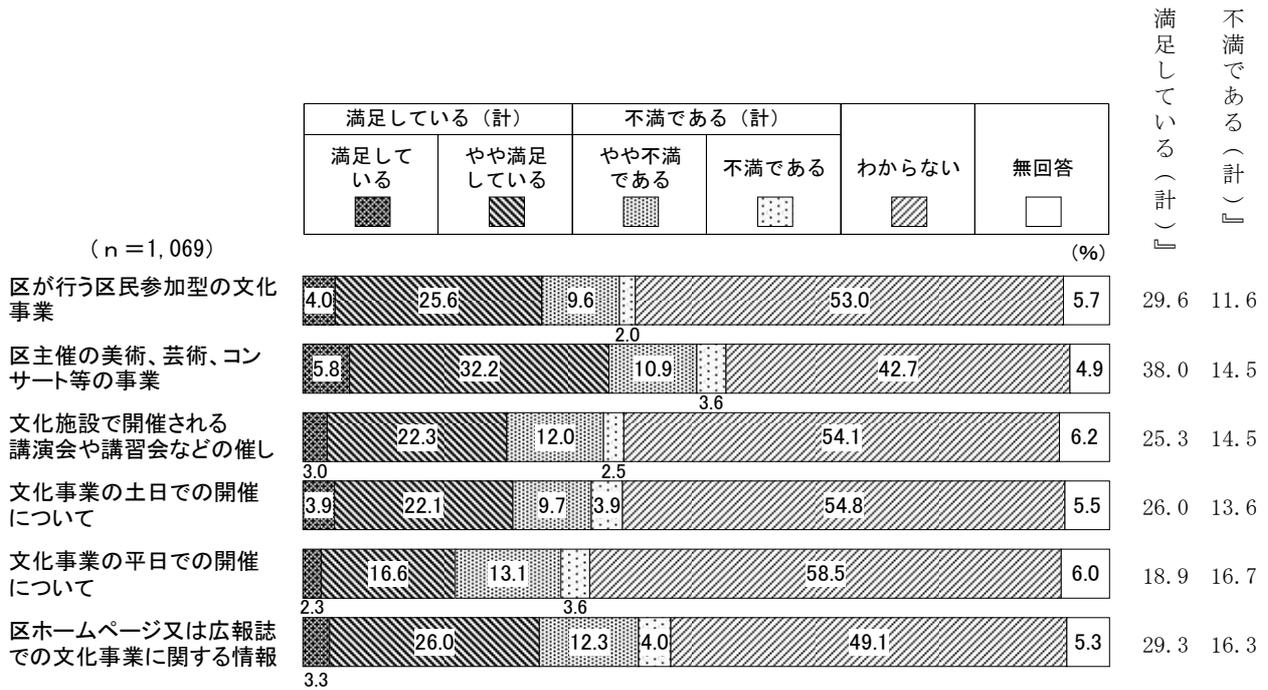
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.1%)と「やや感じている」(19.7%)を合わせた『感じている(計)』(23.8%)は2割を超えている。一方、「あまり感じていない」(42.0%)と「感じていない」(16.5%)を合わせた『感じていない(計)』(58.5%)は6割近くとなっている。



■文化事業の満足度

・・・『満足している（計）』は“区主催の美術、芸術、コンサート等の事業”で4割近く

区が行っている文化事業に関することについて聞いたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している（計）』は“区主催の美術、芸術、コンサート等の事業”（38.0%）で4割近くと最も高く、次いで“区が行う区民参加型の文化事業”（29.6%）、“区ホームページ又は広報誌での文化事業に関する情報”（29.3%）などの順になっている。一方、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は“文化事業の平日での開催について”（16.7%）で2割近くと最も高くなっている。



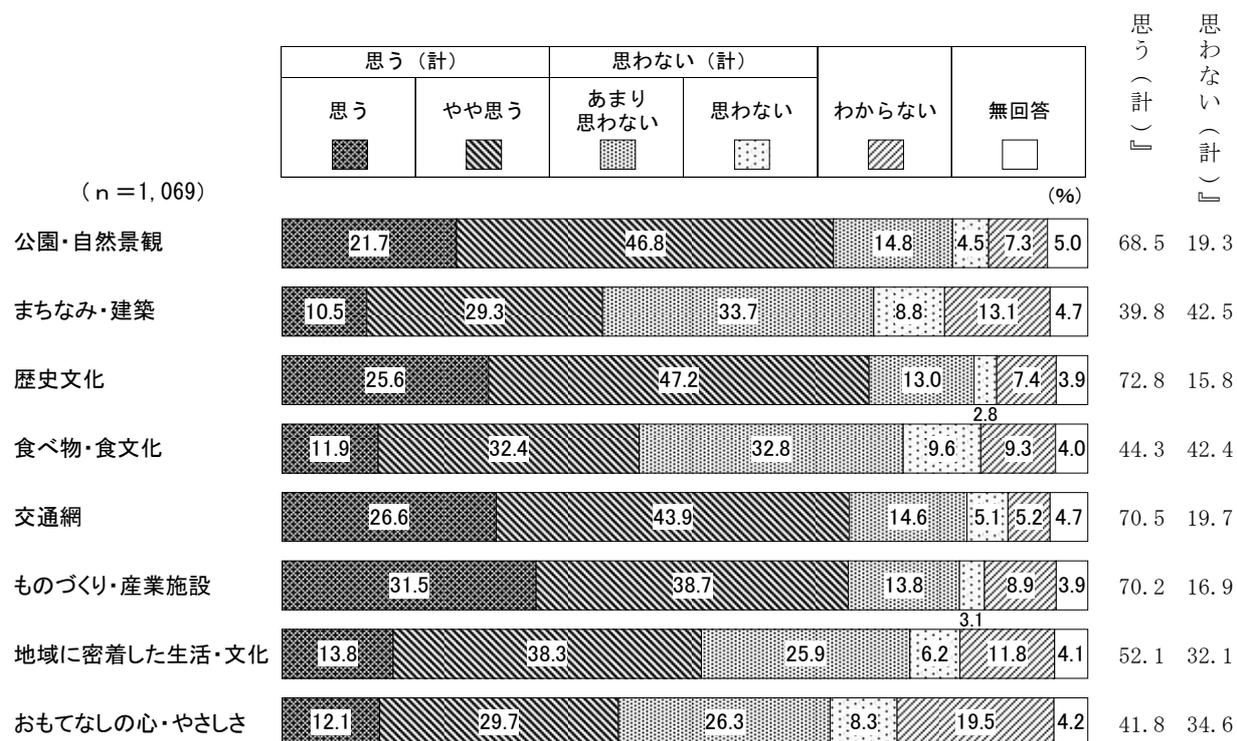
10. 大田区の観光

■区外や外国人の方々に対して誇れるものやアピールしたいもの

・・・『思う（計）』は“歴史文化”で7割を超える

『思わない（計）』は“まちなみ・建築”と“食べ物・食文化”で4割を超える

大田区で区外や外国人の方々に対して、誇れるもの、アピールしたいものについて聞いたところ、「思う」と「やや思う」を合わせた『思う（計）』は“歴史文化”（72.8%）で7割を超えて最も高く、次いで“交通網”（70.5%）、“ものづくり・産業施設”（70.2%）などの順になっている。一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない（計）』は“まちなみ・建築”（42.5%）と“食べ物・食文化”（42.4%）で4割を超えて高くなっている。

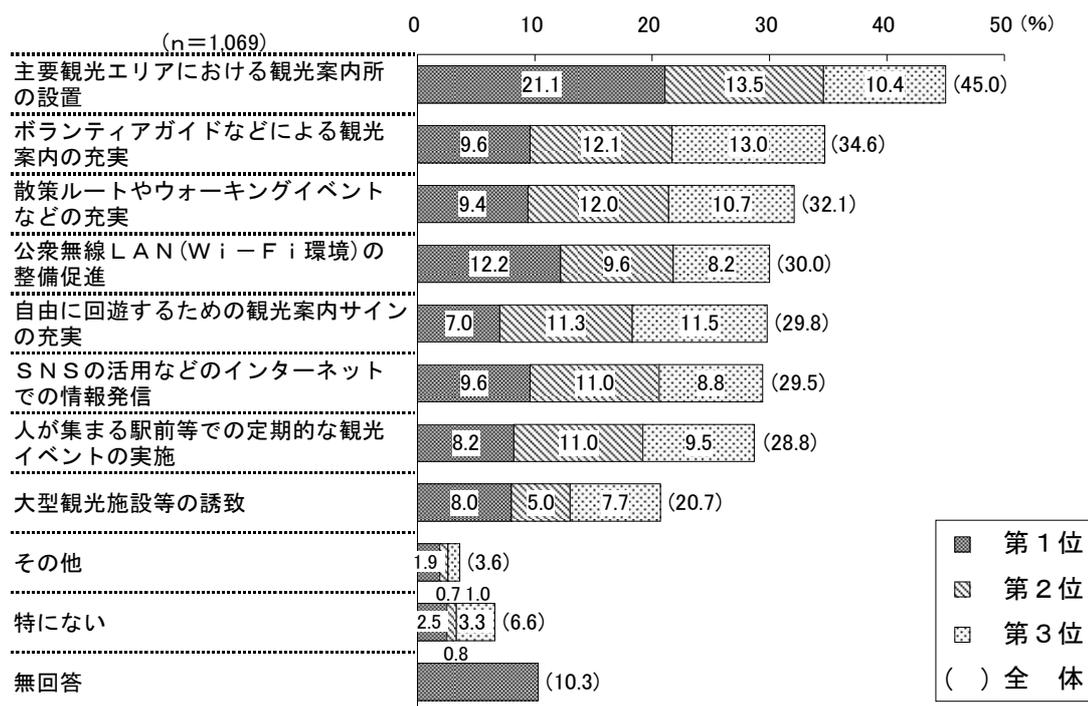


■観光を振興するうえで必要なこと

・・・《全体》では「主要観光エリアにおける観光案内所の設置」が4割半ば

大田区の観光を振興するうえで必要なことを聞いたところ、第1位では「主要観光エリアにおける観光案内所の設置」(21.1%)が2割を超えて最も高く、次いで「公衆無線LAN(Wi-Fi環境)の整備促進」(12.2%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを累計した《全体》でみると、「主要観光エリアにおける観光案内所の設置」(45.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「ボランティアガイドなどによる観光案内の充実」(34.6%)、「散策ルートやウォーキングイベントなどの充実」(32.1%)などの順になっている。



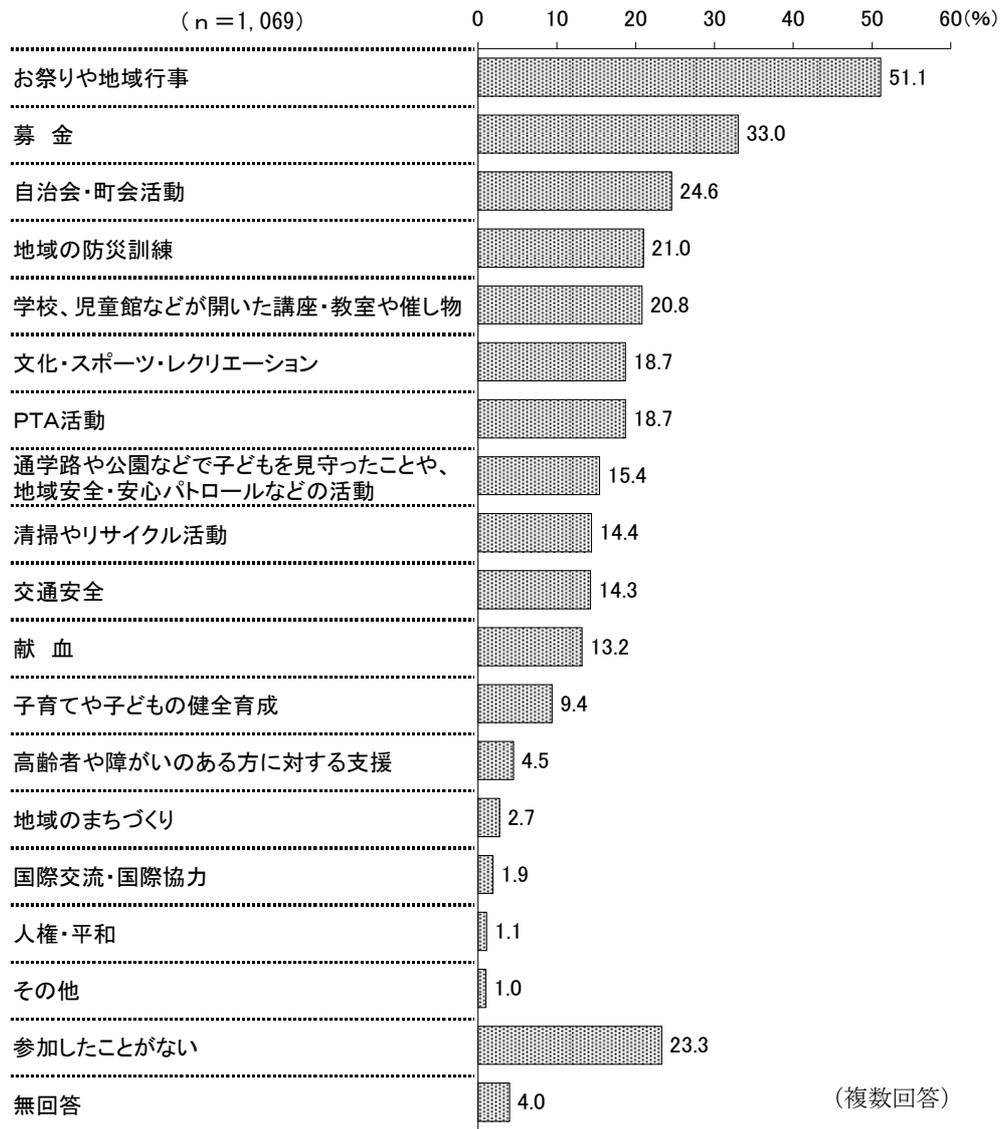
※(全体)の数値は、四捨五入の関係で第1位から第3位までの単純な合計とは値が異なる場合がある。

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

11. 地域力の土台づくり

■ 参加したことがある地域活動・・・「お祭りや地域行事」が5割を超える

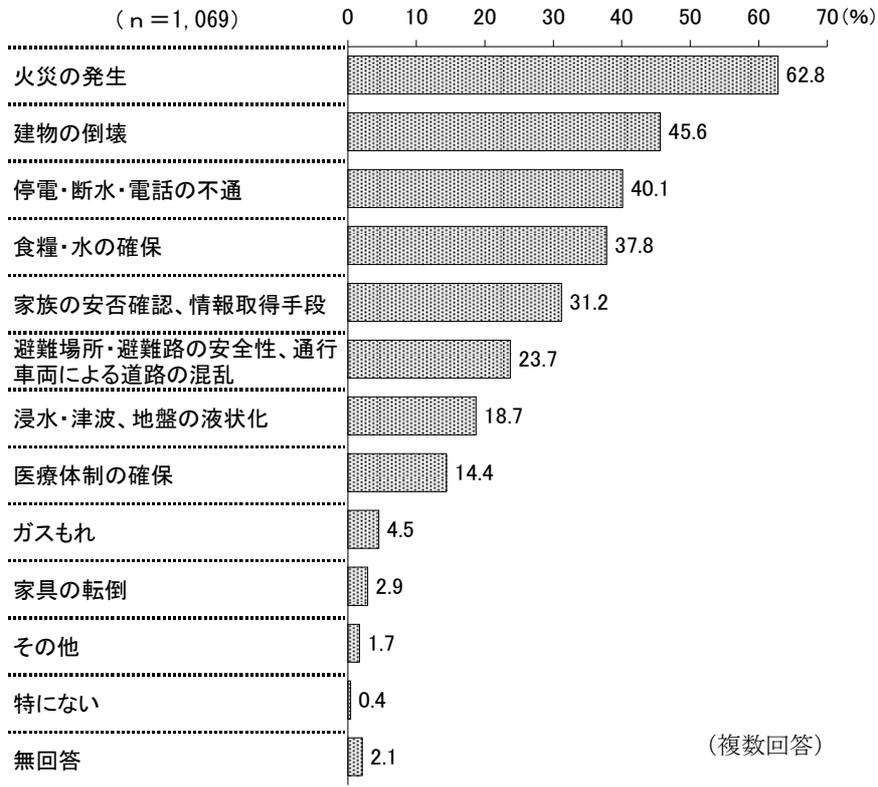
区内の地域活動に参加したことがあるか聞いたところ、「お祭りや地域行事」(51.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「募金」(33.0%)、「自治会・町会活動」(24.6%)、「地域の防災訓練」(21.0%)、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」(20.8%)などの順になっている。一方、「参加したことがない」(23.3%)は2割を超えている。



12. 災害に強いまちづくり

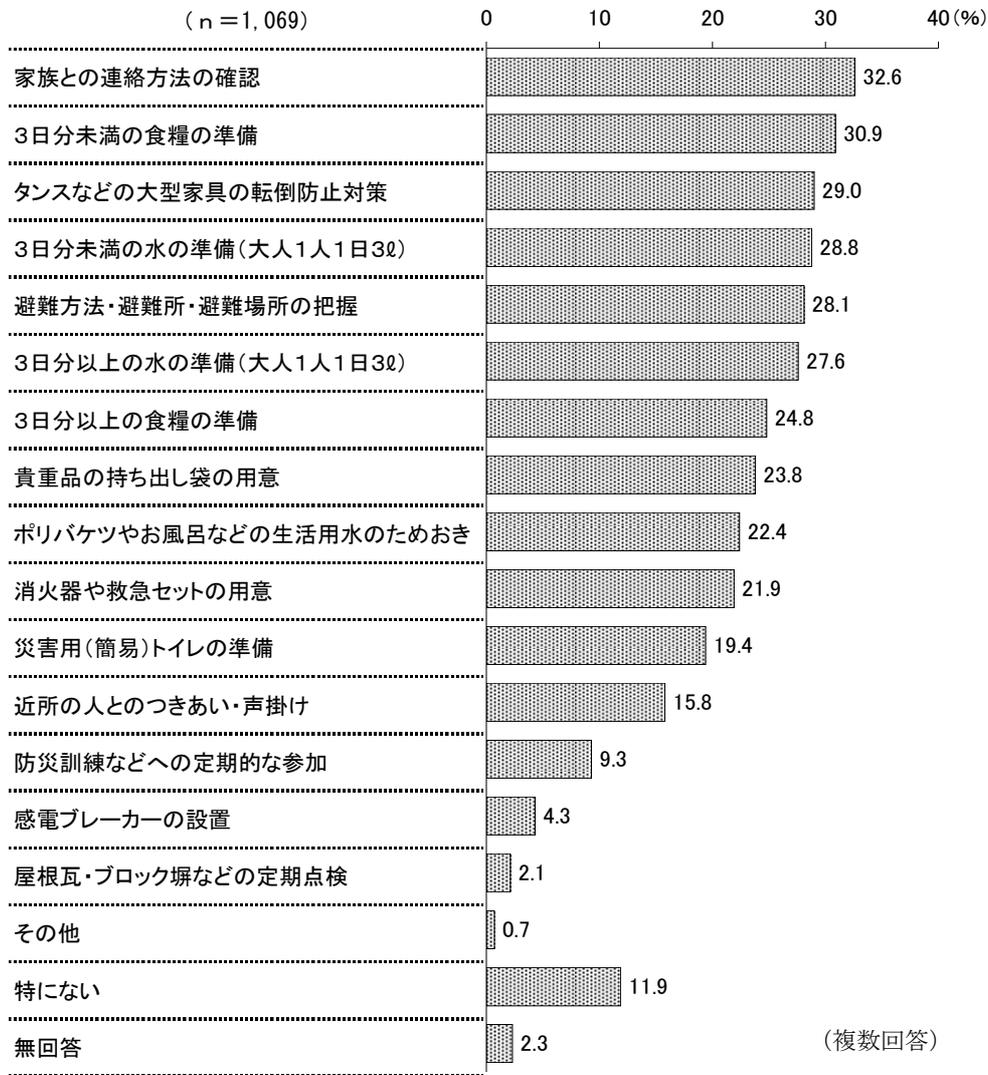
■大震災発生時に不安だと思うもの・・・「火災の発生」が6割を超える

東京に大震災が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」(62.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「建物の倒壊」(45.6%)、「停電・断水・電話の不通」(40.1%)、「食糧・水の確保」(37.8%)、「家族の安否確認、情報取得手段」(31.2%)などの順になっている。



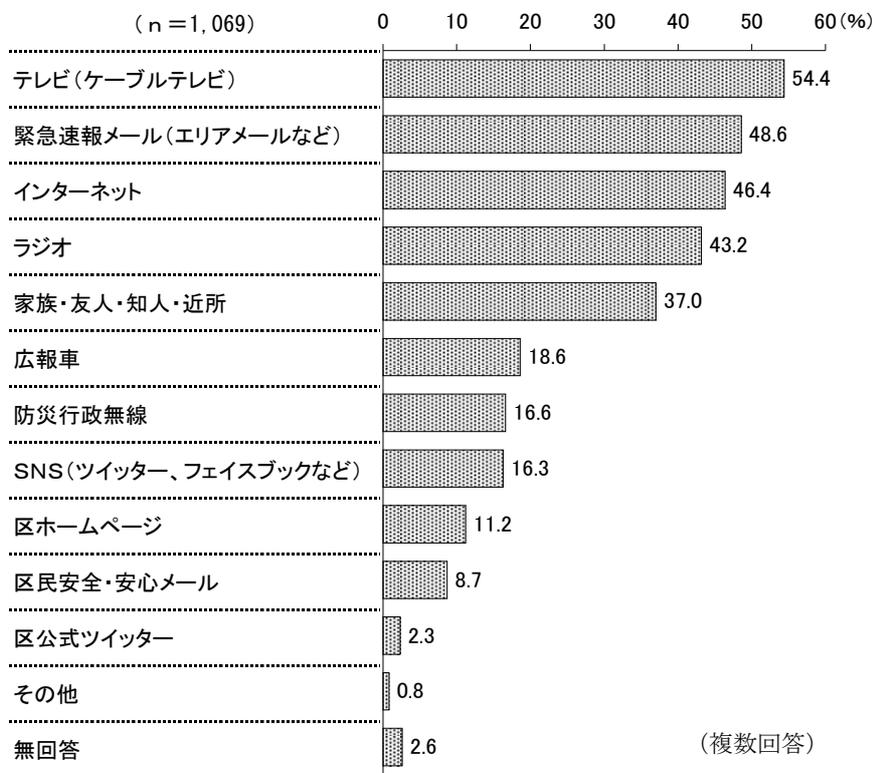
■ 震災対策の実施状況・・・「家族との連絡方法の確認」が3割を超える

大地震に備えて普段から特に心がけていることを聞いたところ、「家族との連絡方法の確認」(32.6%)が3割を超えて最も高く、次いで「3日分未満の食糧の準備」(30.9%)、「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」(29.0%)、「3日分未満の水の準備(大人1人1日3ℓ)」(28.8%)、「避難方法・避難所・避難場所の把握」(28.1%)などの順になっている。



■災害情報の入手手段・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」が5割半ば

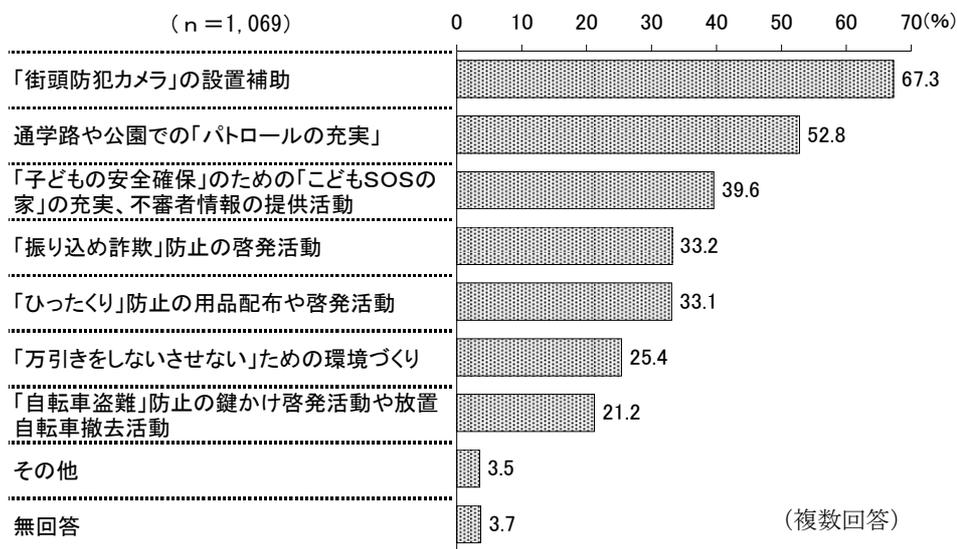
災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（54.4%）が5割半ばで最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（48.6%）、「インターネット」（46.4%）、「ラジオ」（43.2%）、「家族・友人・知人・近所」（37.0%）などの順になっている。



13. 防犯に強いまちづくり

■力を入れてほしい防犯施策・・・『街頭防犯カメラ』の設置補助が7割近く

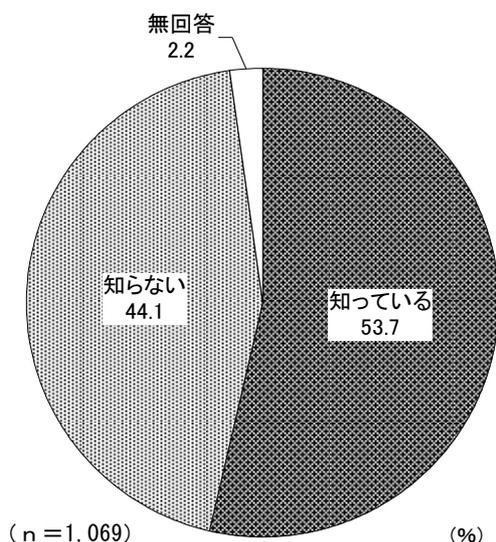
犯罪被害に遭わないようにするための防犯施策として、区が今後、力を入れてほしいことを聞いたところ、「『街頭防犯カメラ』の設置補助」（67.3%）が7割近くで最も高く、次いで「通学路や公園での『パトロールの充実』」（52.8%）、「『子どもの安全確保』のための『こどもSOSの家』の充実、不審者情報の提供活動」（39.6%）、「『振り込め詐欺』防止の啓発活動」（33.2%）などの順になっている。



14. 地球環境

■ 「清潔で美しい大田区をつくる条例」の認知度・・・「知っている」は5割を超える

「清潔で美しい大田区をつくる条例」を知っているか聞いたところ、「知っている」(53.7%)が5割を超え、「知らない」(44.1%)は4割半ばとなっている。

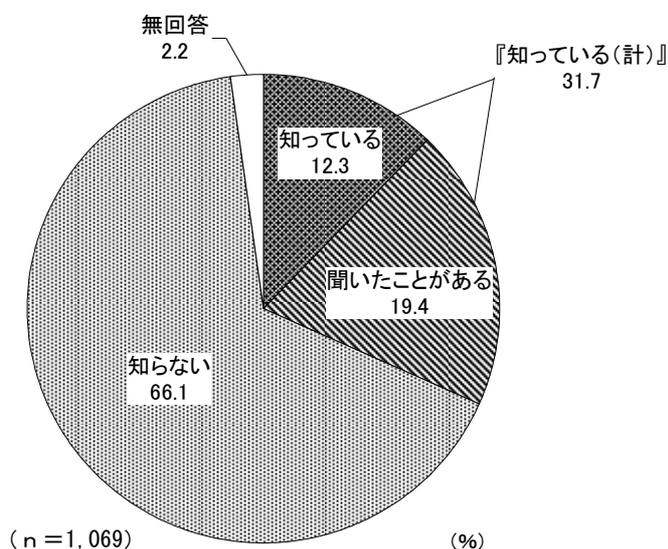


■ 「コアシサシ」の認知度・・・『知っている(計)』は3割を超える

「コアシサシ」を知っているか聞いたところ、「知っている」(12.3%)と「聞いたことがある」(19.4%)を合わせた『知っている(計)』(31.7%)は3割を超えている。一方、「知らない」(66.1%)が6割半ばとなっている。

※1 「コアシサシ」とは、日本には夏鳥として渡ってきて、海岸の砂浜や河川の河原・中州でコロニーと呼ばれる集団を作り、繁殖します。環境省レッドリスト※2では、「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」に指定されています。

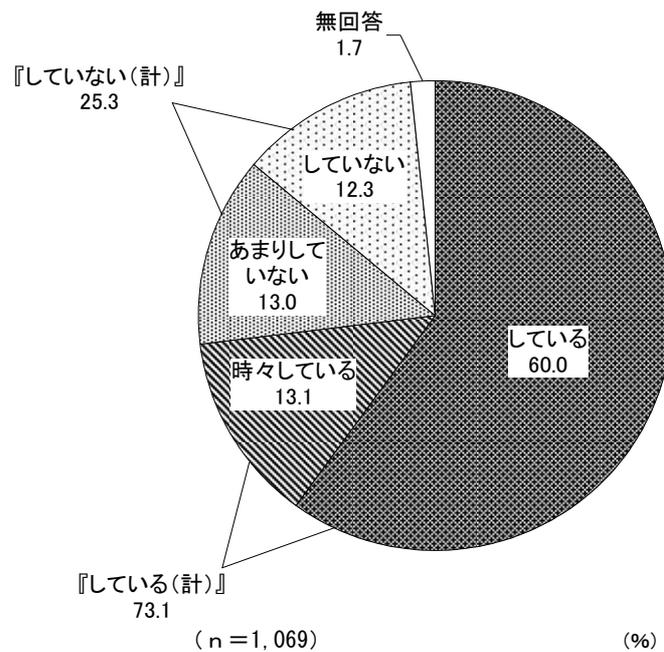
※2 「環境省レッドリスト」とは、環境省が整理した保護が必要な生物のリスト。危険度が高い順に EX、EW、CR、VU、NT、DD、LP の7ランクで評価。



15. ごみのない循環のまち

■紙ごみの分別状況・・・『している(計)』は7割を超える

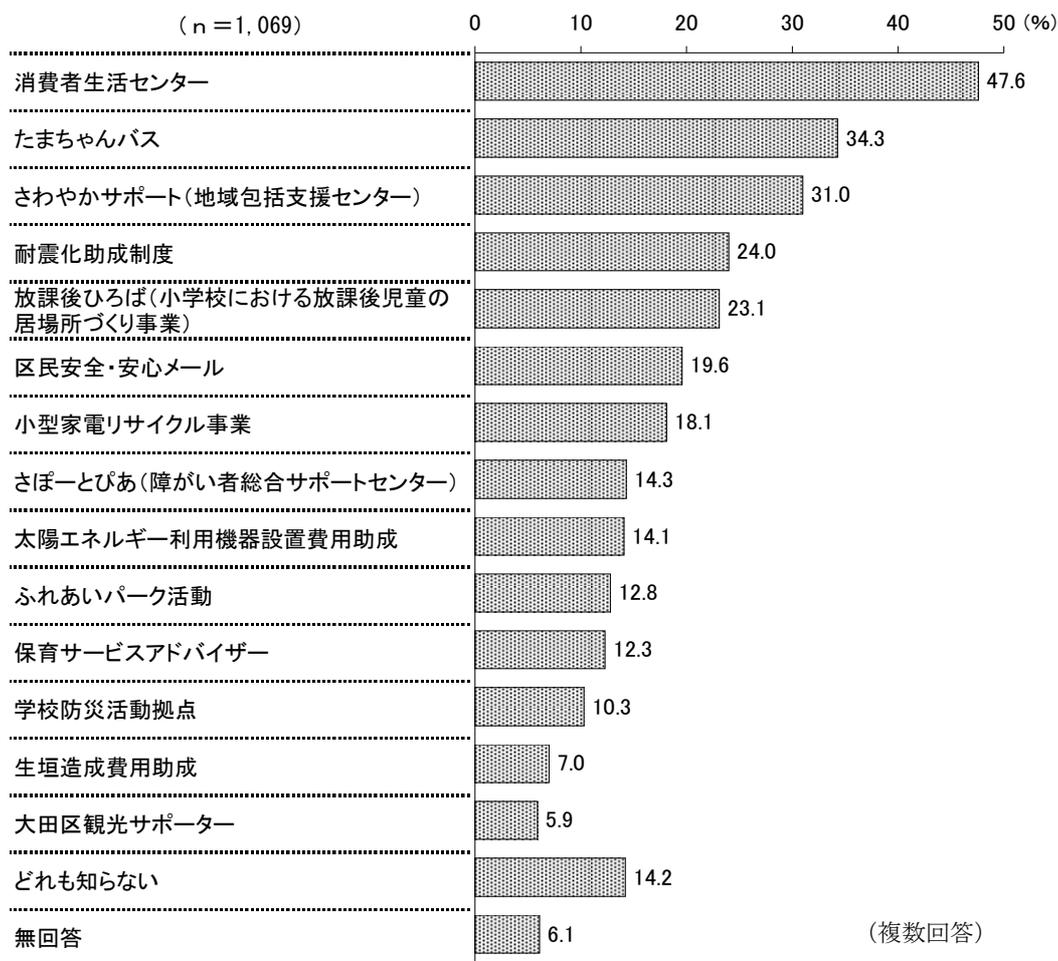
家庭で資源化できる紙ごみの分別をしているか聞いたところ、「している」(60.0%)が6割で最も高く、これに「時々している」(13.1%)を合わせた『している(計)』(73.1%)は7割を超えている。一方、「あまりしていない」(13.0%)と「していない」(12.3%)を合わせた『していない(計)』(25.3%)は2割半ばとなっている。



16. 区政への関心と要望

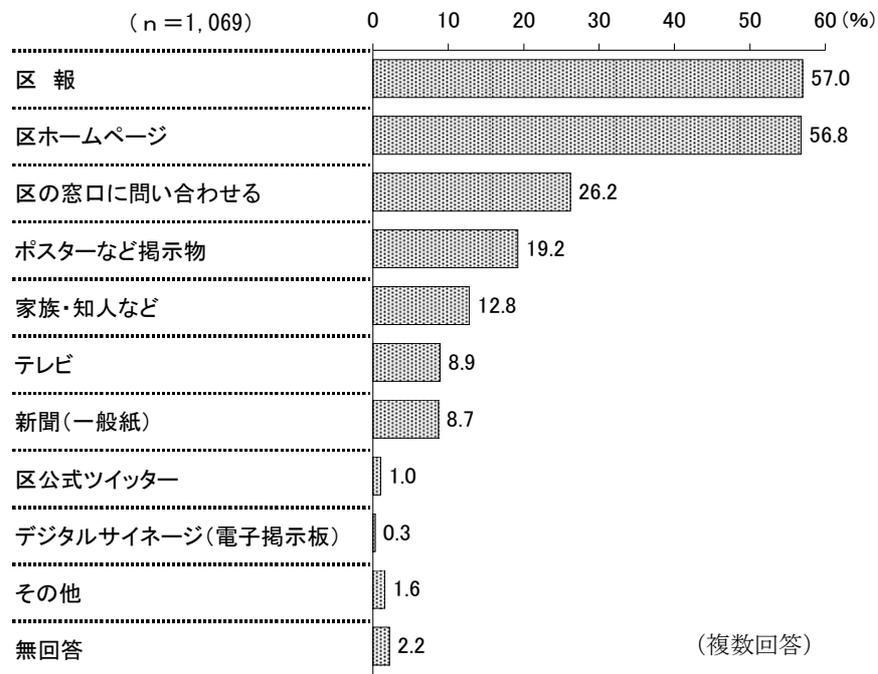
■ 区の制度・施策・施設の認知度・・・「消費者生活センター」が5割近く

区の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(47.6%)が5割近くで最も高く、次いで「たまちゃんバス」(34.3%)、「さわやかサポート(地域包括支援センター)」(31.0%)、「耐震化助成制度」(24.0%)、「放課後ひろば(小学校における放課後児童の居場所づくり事業)」(23.1%)などの順になっている。



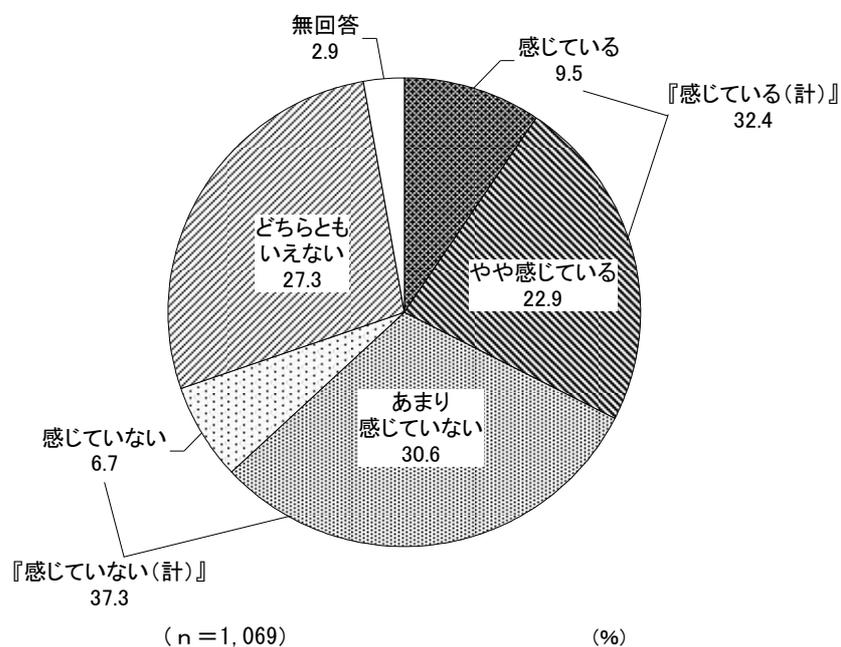
■ 区の情報を知るために利用する媒体・・・「区報」と「区ホームページ」が6割近く

区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区報」(57.0%)と「区ホームページ」(56.8%)が6割近くで高く、次いで「区の窓口にお問い合わせる」(26.2%)、「ポスターなど掲示物」(19.2%)、「家族・知人など」(12.8%)などの順になっている。



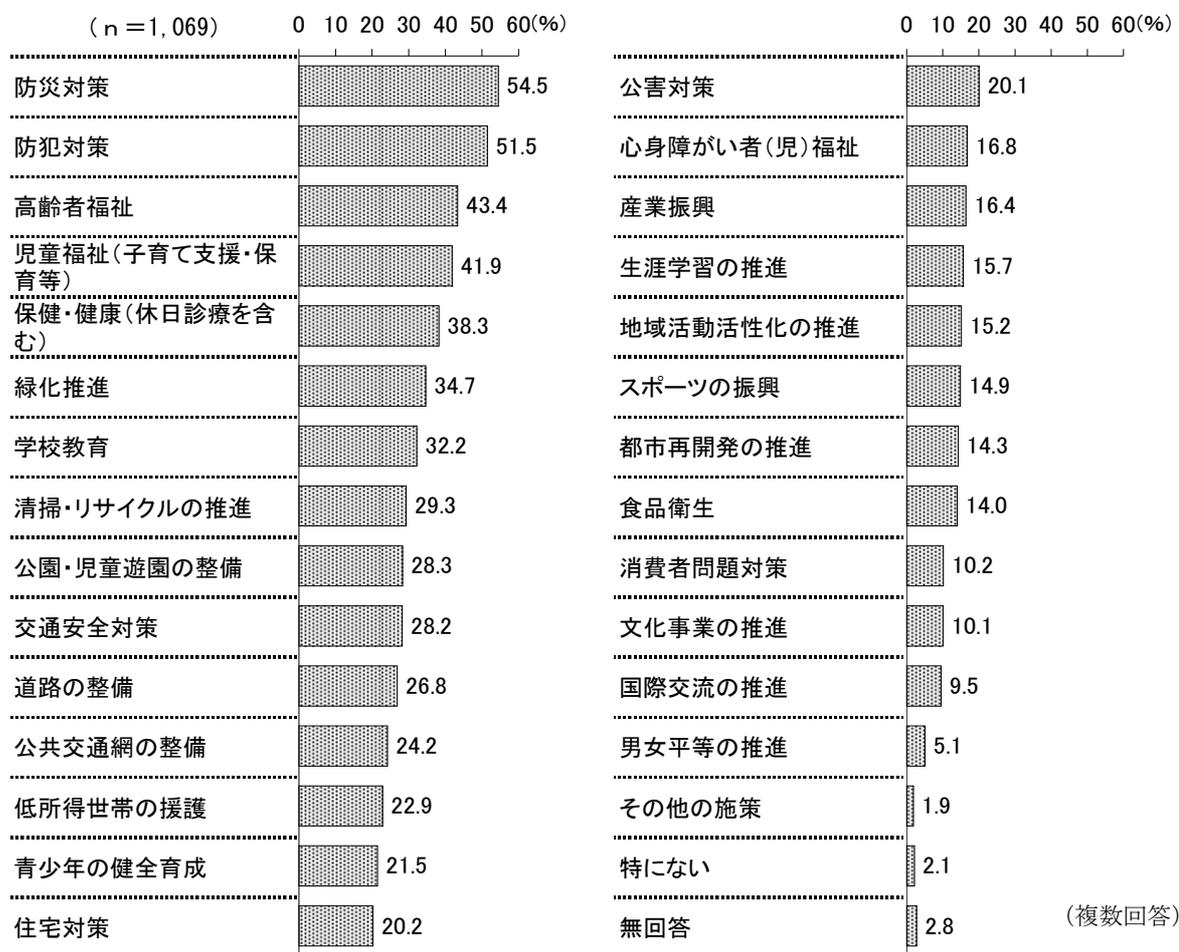
■ 区の情報公開・・・『感じている(計)』は3割を超える

区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(9.5%)と「やや感じている」(22.9%)を合わせた『感じている(計)』(32.4%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(30.6%)と「感じていない」(6.7%)を合わせた『感じていない(計)』(37.3%)は4割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(27.3%)は3割近くとなっている。



■施策要望・・・「防災対策」が5割半ば

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(54.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「防犯対策」(51.5%)、「高齢者福祉」(43.4%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(41.9%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(38.3%)、「緑化推進」(34.7%)などの順になっている。



大田区政に関する世論調査（概要版）

平成27年12月発行

発行 大田区 区長政策室 区民の声課
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504